

統計改革推進会議 第8回 コア幹事会（平成29年5月8日）
議事要旨

（開催要領）

1. 開催日時：平成29年5月8日（月）13時00分～15時00分
2. 開催場所：中央合同庁舎第4号館共用第4特別会議室

（議事次第）

1. 開会
2. 議事
 - （1）最終取りまとめに向けてさらに議論を深めるべき論点
 - ① 総務省、内閣府説明
 - ② 意見交換
 - （2）最終取りまとめ案文審議
3. 閉会

（配布資料）

- 資料1 各府省の統計機構の一体性の確保の方向性（総務省提出資料）
- 資料2 地方統計機構・統計調査員の活性化の方向性（総務省提出資料）
- 資料3 統計調査員の取扱い（総務省提出資料）
- 資料4 効率化の徹底による統計に関するコストの引き下げ（総務省提出資料）
- 資料5 SUT体系移行推進体制の構築（総務省・内閣府提出資料）
- 資料6 地方自治体・民間が保有するデータの取扱い（総務省提出資料）
- 資料7 個別統計の品質確保による有用性・信頼性向上～評価チーム（仮称）の設置（総務省提出資料）
- 資料8 統計改革推進会議最終取りまとめ（案）（事務局作成資料、非公表）

参考資料1 本日の流れ（事務局作成資料）

参考資料2 第7回コア幹事会議事要旨（平成29年4月21日開催）

(概要)

【総務省説明①】

総務省より、「各府省の統計機構の一体性の確保の方向性」、「地方統計機構・統計調査員の活性化」の方向性について説明（資料1、2、3）

【総務省説明②】

総務省より、「効率化の徹底による統計に関するコストの引き下げ」について説明（資料4）

【総務省・内閣府説明】

総務省・内閣府より、「SUTのプロジェクトチーム」について説明（資料5）。

【意見交換】

主な意見は以下の通り。

- 地方統計機構・統計調査員の活性化、統計調査員の取扱い
- 厚生労働省の国民生活基礎調査などのように、地方統計機構を使わない地方統計調査についても同様の扱いが適用されるとよい。
- マルチモード調査（同一客体に複数の返答方法を提示する調査）の分析結果によれば、返答方法によって調査回答が変わり得るという問題が指摘されている。調査員調査を減らして効率化する場合には、回答の精度が落ちないように、マルチモード調査の統合の研究や、新たな調査方法の開発などを併せて考える必要がある。そのための人的資源の配置について、とりまとめのどこかに記述して欲しい。

- 業務効率化
- 研究や分析の視点も考慮のうえ、調査事項を削り過ぎないように配慮願いたい。
- 「調査事項の重複の排除」とは、あくまで、統計の比較可能性を損なわない程度という意味であることを留意願いたい。

- SUT 体系への移行
- 「法人番号の通知状況等といった行政記録情報の活用」には、法人税申告がなかった企業に関する法人番号等の提供が含まれるという理解でよ

いか（→ ご理解のとおり）。

- 回答負担軽減の一つの方向として、行政手続の電子申告を統計調査に転用して活用する方法が考えられる。統計調査についてオンライン回答の推進だけではなく、行政手続の電子申告についても並行して推進してほしい。
- 建設・不動産、医療・介護、教育の分野の統計整備は、GDP 統計の精度向上の鍵。これらを所管する、国土交通省、厚生労働省、文部科学省といった各省庁に、SUT 体系移行推進プロジェクトチームに積極的に参画してもらうことが不可欠。積極的な対応をお願いしたい。

○ EBPM 推進体制の構築

- GDP 統計の改善の取組と比較して、EBPM 推進体制の構築については、メディアの反応が芳しくない。EBPM 推進体制の構築の意義が十分に広まっていないのではないか。
- 今般の改革が相当大きな改革であるとの認識を共有できるよう、経済官庁以外の官庁にも上手く働きかけていく必要がある。
- EBPM の推進にあたって、誰がどのように、誰に対してどのような責任を負っているか、を明文化すべき。適正な評価を受けられるということが、大きなモチベーションにつながる。
- 人材の育成・確保に当たっては、仕事の場を作ることが重要で、これは EBPM 推進統括官の役割だと考える。この点を盛り込んで欲しい。

○ 地方自治体・民間が保有するデータの利活用のための仕組

- 管理が不十分なために、データが利用できなくなることを避けるため、所有者にデータの適切な管理を依頼・指導する方法を検討して欲しい。

○ 統計等データの利活用の基盤整備

- 一般の人が使用できる匿名データ、いわゆる、パブリックユースサンプルファイルの提供については、調査終了後から提供まで多くの時間が掛かりがちである。提供開始までの処理や事務手続きの簡素化をするなどにより、データ提供の早期化をお願いしたい。